

授業科目	行動科学					単位	2	
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO10203J	
開講年次	2・3・4 年	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3			
担当教員	中島 俊介							
授業概要	人間に関わる学問は「人間が幸福になるためにある」という前提を忘れてはいけないと思われる。この「行動科学」では「自分の人生のみならず他者の人生が幸福になる」にはどのような思考、行動。心構えが必要であるかをアドラー心理学を通じて学ぶ。ビデオ教材も使いながら、ストレスの多い複雑な現代社会に適応して、「共同体感覚(アドラーの提唱した概念)」を形成するための実践的な行動と思考についても講義する。受講後に人生が大きく変わるようになることを期待する。							
学生が達成すべき行動目標	1. アドラー心理学がどのような学問であるか、その歴史や研究法から理解する 2. 人の行動を対人関係の視点から説明できる 3. 人の活動を支える共同体感覚について説明できる 4. 人の特性を表す「ライフスタイル」を説明できる 5. 人間行動に働きかける心理療法の基礎的知識を説明できる 6. 社会の中でみられる人間の行動特性を説明できる							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート 外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	40	20	0	0	20	20	100	
知識・理解 (DP1-1)	20	10			20	10	60	
知識・理解 (DP1-2)	20	5				5	30	
知識・理解 (DP1-3)		5				5	10	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度 (DP4-1)								
態度 (DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
アドラー心理学を中心とした行動科学の考え方をよく理解し、現実場面や人間社会における様々な問題を考えるときに応用することができる。 実験や研究の方法論について説明し、他者に伝えることができる。				アドラー心理学を中心とした行動科学の考え方を理解し、他者に説明することができる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間

				(分)
1	テーマ:オリエンテーション(評価の方法など) 行動科学とは・その歴史・研究方法	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	90
2	テーマ:アドラー心理学の全体像1 勇気付け	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	90
3	テーマ:アドラー心理学の全体像2 共同体感覚について	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	90
4	テーマ:自分の心理学1 感情の役割と目的	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	90
5	テーマ:自分の心理学2 行動と認知・ライフタスク	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	90
6	テーマ:人間関係の心理学1 良い人間関係とは	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	90
7	テーマ:人間関係の心理学2 コミュニケーションのスキル	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	90
8	テーマ:職場の人間行動1 説得・お願いのコミュニケーション	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	90
9	テーマ:職場の人間行動2 不適切な行動についての対応	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	90
10	テーマ:親子・家族関係の心理学1 人間行動とライフスタイル	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	90
11	テーマ:親子・家族関係の心理学2 人間行動ときょうだいの誕生順位	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	90
12	テーマ:人間行動と勇気1 不適切な行動と勇気付け	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	90
13	テーマ:人間行動と勇気2 失敗した時の勇気付け	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	90
14	テーマ:今後の行動科学 世界と人生を幸福にする	講義 小レポート	復習:該当部分の復習	90
15	テーマ:まとめ これまでの授業のまとめと振り返り	講義 小テスト	これまでの授業全体を復習しておく。	90
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	心理学一般に関する様々な知識があれば理解は深まりやすい。日頃の生活の中で心理学や社会学、また科学的手法に関わるテーマについて自分の興味を深めていくような態度を習慣にしていくことが大切だと考えます。			
テキスト	テキストは使用しない。適宜資料を配布する。			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業の中で適宜指示をします。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	図書館などで参考になる本を自主的に探してみてください。また、テレビや雑誌などで心理学を扱ったものが多くあるので、注意して試してみるのもよいかと思います。			
達成度評価に関するコメント	小レポートおよび小テストの内容については、授業の中で指示をします。			